

注目 ニュース	#	日付	FA名	ニュースタイトル	ニュース概要	感染症種別	ニュース種別									関連リンク
							FAの 戦略/方針	ワクチン開発 進捗	取組		資金提供			イベント	組織設立 ・再編	
									当該FA	支援対象機	重点感染症	その他疾患	外部からFAへ			
	287	2024/1/4	BARDA	ATCC Announces New Award from BARDA to Provide Centralized Storage and Bioprocessing Services for Project NextGen	ATCCは、Project NextGenにおける臨床研究からの生物学的検体のコールドチェーンおよびライフサイクル管理の提供について、5年間で87mドルの契約を発表。	コロナウイルス感染症				●	●					リンク
★	288	2024/1/4	BARDA	BARDA selects management firm for new Biopharmaceutical Manufacturing Preparedness Consortium	BARDAは、BioMaP-Consortiumの管理会社として非営利団体Advanced Technology International(ATI)を選定したことを発表した。 BioMaP-Consortiumは、米国内における重要な医療対策における製造・提供能力を向上させるための新規の10年間に渡るプログラムであり、まず以下の3つの主要分野において、ワクチンやその他の生物製剤の国内製造エコシステムの構築に焦点を当てた活動を進めるとしている。 ・バイオ製造のサプライチェーン産業基盤拡大 ・バイオ製造の能力拡大と確保 ・先端的なバイオ製造技術の確立	－			●			●				リンク
	289	2024/1/4	CEPI	CEPI partners with Lemonex to advance mRNA vaccine delivery against future pandemic threats	CEPIは将来のパンデミックの脅威に対するmRNAワクチンの供給を推進するために、韓国Lemonexの薬物送達技術に対する最大4.6mドルの資金助成を発表。Seoul National University Hospitalで行われているPhase1研究で薬物送達技術DegradaBALL mRNAワクチンプラットフォームの安全性を評価するとしている。DegradaBALLは、投与部位での薬物残存率を高め、mRNAの安定性を向上させることにより、現在のLNP-mRNAワクチンの使用に関連する副作用を最小限に抑えるように設計されており、また凍結乾燥製剤の開発により、複雑なワクチンのコールドチェーン・保管の要件の緩和、グローバル・サウスでのmRNAワクチンの使用増に貢献するとしている。	－			●			●				リンク
	290	2024/1/9	WHO	The World Health Organization prequalifies novel type 2 oral polio vaccine (nOPV2)	WHOはポリオウイルス2型の流行に対応するためnovel oral polio vaccine type 2（nOPV2）の使用を事前認定したことを発表。 nOPV2は2020年11月にWHOのEULを取得しており、また、インドネシアにおいては完全認可を取得している状況にある。	ポリオ			●			●				リンク
	291	2024/1/11	DoD	Emergent BioSolutions Awarded Procurement Contract Valued up to \$235.8 Million to Supply BioThrax® (Anthrax Vaccine Adsorbed) to the U.S. Department of Defense	Emergent BioSolutionsはDoDとの炭疽菌ワクチン吸着剤BioThraxの無期限納入および無期限数量（indefinite-quantity：IDIQ）供給のために、DoDと最大235.8mドル相当の調達契約を締結したことを発表。	炭疽菌				●		●				リンク
	292	2024/1/15	BMGF	Amidst Ongoing Global Crises, Gates Foundation Announces Largest Budget Ever: \$8.6 Billion in 2024 to Save and Improve Lives	BMGFは、2024年の予算額が理事会によって正式に承認されたことを発表。予算額は過去最大の8.6bドルとなり、資金の一部は低所得地域に住む新生児や妊婦など、世界で最も脆弱な人々の生活を救い、改善するためのグローバルヘルスイノベーションの推進に充てられる見通しであるとしている。	－	●		●			●				リンク
★	293	2024/1/17	CEPI	Scientists explore how chrysalis-based ‘living bioreactors’ could accelerate new vaccine production	CEPIはスペインのバイオテクノロジー企業Algenexに対し、最大3.14m万ドルを資金提供し、繭ベースのバキュロウイルスワクチンプラットフォーム技術「CrisBio」のさらなる開発を支援することを発表。 CrisBioは、ワクチンに必要なウイルス抗原への迅速な拡張性と早期の大規模生産を可能にすることで、ワクチン製造のスピードを加速することに貢献できるとしている。	－			●							リンク
	294	2024/1/17	NIH (VRC)	NIH-Developed HIV Antibodies Protect Animals in Proof-of-Concept Study	NIH VRCの開発したHIV抗体が、概念実証研究で動物を防御したと発表。ヒトの広域中和抗体と、過去ワクチンを接種したサルから分離された2つの抗体であり、HIV表面タンパク質の融合ペプチドが標的となる。今回の研究で標的としたHIV融合ペプチドは、HIVワクチンの標的になり得るとしている。	HIV			●			●				リンク
	295	2024/1/19	BARDA	Vaxart Receives \$9.27 Million BARDA Project NextGen Award to Prepare for Phase 2b Clinical Study Evaluating Its COVID-19 Oral Pill Vaccine Candidate	BARDAが、Vaxartに対し、XBB COVID-19に対する次世代経口錠剤ワクチン候補を評価する10,000人の被験者を対象としたPhase2b試験の準備資金として9.27mドルを支援したと発表。	コロナウイルス感染症		●		●	●					リンク
★	296	2024/1/24	NIH (NIAID)	Capricor Therapeutics Announces Collaboration with the National Institutes of Health for Clinical Trial of Novel Exosome-Based Multivalent Vaccine for SARS-CoV-2	Capricor TherapeuticsがSARS-CoV-2に対する新規エクソソームベースの多価ワクチンStealthX vaccineがProject NextGenの支援プログラムとして採択され、Phase1試験でNIHと提携したことを発表。 NIH NIAIDはCapricorのStealthX vaccineに対するPhase1試験を実施し、NIAIDの微生物学・感染症部門(DMID)が研究を監督する体制を想定している。	コロナウイルス感染症		●		●	●					リンク
	297	2024/1/23	CEPI	Serum Institute of India joins CEPI global network to boost production of affordable outbreak vaccines	Serum Institute of Indiaは、将来の公衆衛生疾患の発生に対するより迅速、機敏、かつ公平な対応を支援するために、グローバル・サウスで拡大するワクチン生産者のCEPIネットワークに参加することを発表。 これに伴いCEPIは最大30mドルを投資し、流行やパンデミックの脅威に直面した際に治験用ワクチンを迅速に供給する能力を、SIIの実績を踏まえ拡大するとしている。	－			●			●				リンク

	298	2024/1/25	CEPI	Promising new ‘circRNA’ vaccines explored in CEPI-HMRI collaboration	HMRI（Houston Methodist Research Institute）は、CEPIから最大3.8mドルの資金提供を受け、「circRNA」プラットフォームを前進させていることを発表。 circRNAワクチン技術はクロースドループRNAを使用しており、直鎖ベースのmRNA候補よりも安定性と耐久性が高く、また、少量の投与で効果を向上させる可能性がある。 HMRIのcircRNAプラットフォームはまだ開発の初期段階にあるが、成功すれば単回投与レジメンに有効であり、1回の投与に必要なRNA量を減らし、RNAベースのワクチンのコストを下げる可能性があり、mRNAワクチンの入手可能性に大きく貢献する可能性があるとしている。	—		●	●							リンク
--	-----	-----------	------	--	--	---	--	---	---	--	--	--	--	--	--	---------------------

注目ニュース星取ルール
感染症種別が重点感染症かつFAが投資しているワクチンの開発状況に関わるニュース
FAの戦略/方針の中でも特にワクチンや重点感染症に関連するニュース
その他 ワクチン開発関連においてAIの活用など新規技術の活用がされているニュース